

整理番号	47 - 10	事務事業名	(体育施設管理事業) 自然の森キャンプ場管理事業	作成部署	生涯学習部体育課	電話	内線890	
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	山内平一郎	課長職名	松尾定治	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	H9	根拠法令等	北広島市自然の森キャンプ場条例					
〃 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	平成8年、廣済堂札幌カントリー倶楽部から市民還元施設としてキャンプ場の寄附を受け、市も一部整備を行い、平成9年度から地元町内会に運営を委託し、市民に有料で開放した。							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	豊かな心と個性ある文化をはぐくむまち	(第4章)
	節	スポーツ・レクリエーション	(第5節)
	施策	施設の整備と運営	(第3施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	市民及び市民以外の人、キャンプ場	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	自然の中にある同キャンプ場を開放し、心身の健全の増進を図る場を提供する。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	H10～16年 地元運営委員会に施設管理委託、敷地内の植樹、施設整備の実施 H13年 屋根付炉場の建設、施設整備の実施 H14年 使用料の改正 開設期間 (5月1日～9月末まで)
		17年度	地元運営委員会に施設管理委託 開設期間 (4月末～9月25日まで)

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財	1,083	1,057	1,050	1,050
	一般財源	3,505	3,357	2,986	2,986
	合計	4,588	4,414	4,036	4,036
人件費(概算)	人数(年間)	0.20	0.15	0.15	0.15
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	1,800	1,350	1,350	1,350
総事業費 +	6,388	5,764	5,386	5,386	

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	開放日数	115日	117日	94日	94日
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	利用者数	5,208人	4,992人	5,000人	5,000人
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	利用者1人当りコスト	1,019円	943円	867円	867円
	(総事業費 - 受益者負担) / 利用者数				
	開放日1日あたりコスト	46,130円	40,231円	46,128円	46,128円
	(総事業費 - 受益者負担) / 開放日数				

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	日常生活で味わうことの出来ない自然の中での体験が近年求められており、学校の完全週休2日制などでキャンプ場が一段と注目されている。特に夏休み期間中は、定員を超える状況にある。
---------------------------------	--

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	市民還元施設として市が譲渡を受けたものであり、市が管理する必要がある。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	夏休み期間中は、定員に達する盛況ぶりで野外活動に対するニーズは高く、場の提供は適切である。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	現在は地元運営委員会に委託しており妥当と考えるが、指定管理者制度を視野に入れ検討する余地がある。	指定管理者制度の導入について検討
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	平成14年度に現行の使用料に改正しており、現在は適切である。	

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	利用実績から、十分成果が上がっている。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	事前予約で利用者への決まり等の周知と利用者数の掌握ができ、概ね効率的である。	

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	指定管理者制度を視野に入れ、今後は運営方法を見直しの方向で検討していく。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	1次評価のとおり